

maiko violin
城戸夕果 flute
尾花毅 guitar

2025 04月16日 (水)

開場 19:30

開演 20:00

(2ステージ入替無) (1drink=600)

MC=3700+2drinks order

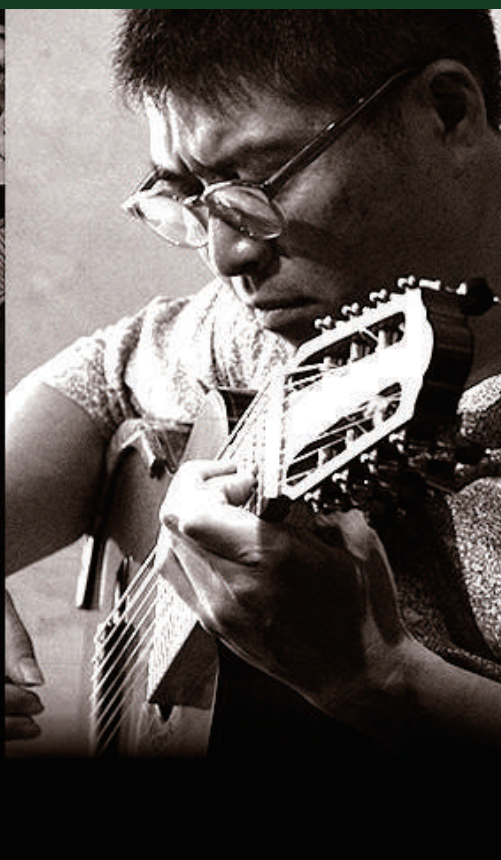
CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



城戸夕果

洗足学園大学在学中にジャズ・フュージョン系の音楽家として活動開始。89年、小野リサのバンドに入りブラジル音楽に目覚める。90年代は毎年リオに長期滞在し、複数のリーダー作を録音。ジョニー・アルフ、ジョアン・ドナート、カルロス・リラ、ジョイス・モレーノらと共演した。日本では自身のバンドでの活動のほか、宮沢和史、EPO、渡辺香津美らと共演。21世紀に入り、外交官夫人としてブリュッセル、ブラジリア、ポストンに在住。現地で音楽活動も行ない、2020年に帰国。ブラジル音楽を軸にジャズなどの素養、海外での多彩な経験も生かして活動中。

maiko

神戸市出身。3歳からバイオリンを始める。京都市立芸術大学音楽学部卒業。ジャズバイオリニスト寺井尚子氏に師事。アシスタントを務めながらジャズ・バイオリンの研さんに励みつつ、2001年からの8年間で2,000回を超える圧倒的な数のライブパフォーマンスを行い、独自のジャズスタイルを確立する。第19回浅草Jazzコンテストでベストプレイヤー賞を受賞。2001年横濱ジャズプロムナード、ライブ・コンペティション本選大会で向井滋春賞を受賞。2009年9月、洗足学園音楽大学ジャズコース非常勤講師に就任。ジャズをベースに幅広いジャンルにおいて、音色の美しさと熱い演奏が身上。コンポーザーとしての才能も高く、歌心あふれるオリジナルナンバーは好評を博している。2015年5月、伴奏者のいない完全なソロバイオリンのライブを敢行、以降ライフワークとして取り組んでいる。

尾花毅

幼少期をドイツで過ごしクラシックギターのレッスンを受け始める。学生時代は自作曲を演奏する。プログレッシブハードロックバンドにて都内近郊のライブハウスで活動する日々を過ごす。あるきっかけで耳にしたブラジル音楽に衝撃を受け、再びクラシックギターを手にする。様々なブラジルの音楽から影響を受けてきたが、7弦ギターを手にしてからは特に古いサンバやショーロから多大な影響を受け現在に至る。7弦ギターの特徴を生かし幅広い音楽を通して身につけたプレイスタイルでクラシック、JAZZ、ブラジルまで広範囲のユニットに参加する他、ブラジルから来日するミュージシャンのサポート等、数多くのライブをこなす日々を送っている。近年は自らが製作したマイクrohンを販売するブランド[OBANA Microfone]を立ち上げ、音にこだわりをもつミュージシャンに愛用されている。また使用している7弦ギターは実の父親が製作した楽器である。